

成果の説明書

(氏名) 佐藤 敦子	(学部) 経済学部 国際学科
1 重要事項	
【研究】	
* 国際ビジネス研究、異文化マネジメント研究の対象として、国際的に著名な非営利文化芸術団体の経営を研究しているが、マクロ的な社会構造変化の中、非営利文化芸術団体にとっての喫緊の経営課題は、持続可能な事業体として存続するための財務基盤強化が必要であるとして、近年世界的に注目されているソーシャル・インパクト・ボンドなどのソーシャル・ファイナンス手法の適用可能性等について研究を行ってきた。	
(1) 「非営利文化芸術団体によるソーシャル・ファイナンス導入に係る試論」『産業研究』第 53 巻第 1,2 合併号、高崎経済大学地域科学研究所紀要、2018 年 3 月（共著）	
(2) 「ソーシャル・インパクト・ボンドの進展と展望」『文化経済学』第 15 巻第 1 号、文化経済学会、2018 年 3 月（単著）	
* 日本の民族芸能に端を発する和太鼓パフォーマンスの鼓童は、世界 49 か国で 1500 回を超える海外公演実績を誇り、これは他に類を見ない文化芸術団体による海外市場開拓の成功事例であり、如何にブランド構築が行われたのかという視点で事例研究を行った。	
(3) 「本邦伝統芸能の国際ブランド確立プロセスの研究」（2017 年 7 月 1 日文化経済学会（日本）全国大会において発表）	
【教育】	
高崎経済大学創立 60 周年記念国際学術講演会の一環として、デービッド・アトキンソン氏（株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長）による講演「観光立国・日本の行方」を企画・実施（2018 年 1 月 25 日）	
2 その他の事項	
(1) 群馬県庁 景気動向指数アドバイザー委員（2017 年 5 月～）	
(2) 川崎市 文化芸術振興会議委員（2018 年 2 月～）	
(3) 高等学校への出前授業（2017 年 7 月 11 日福島県磐城桜が丘高校、2017 年 11 月 28 日高崎北高校）	
3 次年度以降の計画・抱負	
教育面では、平成 30 年度後期からいよいよ国際学科 1 期生のゼミ演習が始まることから、国際ビジネス研究分野における最新の学術的議論を学生と共に学ぶ演習授業運営を行いたい。	
研究面では、引き続き「ビジネスや経営の国際化」に着目しつつ、山積する社会課題解決に対して貢献し得るソーシャル・ファイナンスや、世界的に求められている企業活動における ESG (Environment, Social, Corporate Governance) などについて研究の視座を広げて取り組んでみたい。	